

2014年(平成26年)5月20日(火) NO 74号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆ 社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆ 商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆ 本社	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
◆ 千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ設置	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

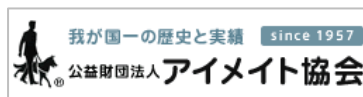


【加盟団体】

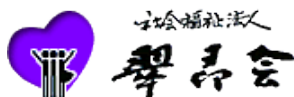


RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会青年部	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
NPO 法人	日本危機管理学総研	http://www.kikikanri.jp/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体企業】



市原市、千葉市、袖ヶ浦市、木更津市の
不動産・賃貸・リフォーム建築
株式会社 **アセットホーム**



学校法人遠澤学園
千葉モードビジネス専門学校 高等課程
ファッションビジネス科 情報ビジネス科

ごあいさつ

以前、祈りについて巻頭でお話したことがあります。(K-PURO NEWS 63・64号 HPにも掲載中)さて、とても懇意にしているお客様の会社でこんなことがありました。

二人の女性社員が、セミナーの案内チラシをDM(ダイレクトメール)に同封しています。一人の女性は、ひっきりなしに文句や相手先の悪口を言いながら同封の作業をしていたそうです。ところが、お送りした案内の締切日には、普段より参加者が極端に少なく、挙句にキャンセルも出る始末。多々あって、その方には会社を辞めてもらいました。そして、今度は送付先の方々の幸せを心から願いながら同封作業を行いました。するとどうでしょう！今度は、一変で満席になったそうです。

目には見えない同じ案内封筒ですが、相手に幸せになってもらいたいと気持ちを込めてお送りしたものとそうでないものとは、知らずうちにきちんと伝わるとい事を教えられました。

今月号のキーワードは、「ありがとう」です。 代表取締役 木戸 良樹

日本の偉人 故 村井 順 翁 (ALSOK 創業者)



『ありがとうの心』

人間はこの社会の中で、お互いに生かされ生かされているのである。我われはまず、この事実を正しくしなければならぬ。ところが世の中には、そのことに気がつかず、「自分は一人の力で生きているのだ、だれの世話にもなっていない」と思い込んでいる人が少なくないが、思い上がりも甚だしい、そういう人たちは、一度無人島にでも渡って、たった一人の生活を体験してみると良い。おそらく二日か三日もしたら、そのみじめな生活に悲鳴をあげてしまうことを思い知るはずである。

そう考えてみると、我われ人間は一人では誠に無力な存在であって、毎日こんなに豊かで楽しい生活を過ごせるのは、すべて社会の中の人びとに生かされているからなのである。

こうした事実気がつけば、

「人びとに生かされていることがありがたい」という感謝の心が生まれるはずである。

そして今度は自分もそれに報いるべく、

「人びとを生かすために尽くさなければならない」という思いやりの心が生まれるはずである。

もし、そうした心が生まれないとすれば、それはまさしく乞食根性といわざるを得ないと思う。

要するに、まともな人間ならば社会の中で

「ありがたいという感謝の心」と「人に尽くすという思いやりの心」を持ち合わせるはずである。

こうした心をわれわれは「人情」と呼んでいるのであって、社会の一員として絶対に失ってはならない大切な心だと信じている。もしこの人情を欠くようなことがあれば、その人間は「人でなし」として、社会の中で爪弾きにされてしまう。

それだから「ありがとうの心」と「思いやりの心」を、その教えの基礎にしているのである。

かつて私は、大学生たちとこの問題について話し合ったことがある。

「たとえば、君たちが欲しいと思っていた物を友人からプレゼントされたら、ありがたいと思うだろう。

もしそうならば、君たちの生命をはじめ何万、何十万というたくさんの物をプレゼントしてくれた両親を、ありがたいと思わないはずはない。また、君たちが山の中で道に迷って困っていた時に土地の人が来て道を教えてくれたら、ありがたく思うだろう。もしそうならば、君たちがイロハも読めなかった子供のころから数え切れないほどのたくさんの知識を教えてくれた先生を、ありがたく思わないはずはない。また、君たちが暴漢に襲われて一命が危うかった時に友人が助けてくれたら、これまたありがたく思うだろう。もしそうでなければ、君たちの安全と幸福を全面的に保障してくれている祖国を、ありがたいと思わないはずはない。

この親がありがたいと思う心から親に孝行をするという道徳が生まれ、また、先生がありがたいと思う心から先生を尊敬するという道徳が生まれ、そして祖国がありがたいと思う心から祖国のために尽くすという道徳が生まれるのである」

要するに人のありがたさ、社会のありがたさがわかる者のみが、さらにありがたくて立派な社会を作り出せるのだと信じている。

明治 42 年 生まれ 東京帝国大学法学部政治科卒 内閣事務次官兼総理大臣秘書官・調査室長
東京オリンピック組織委員会事務次官 九州管区警察局長 昭和 40 年 総合警備保障(株)創立

今月の良い話 100万回のありがとう 竹田製菓株式会社

みなさんは、タマゴボーロというお菓子をご存知ですか？
実はこのタマゴボーロはある会社が市場占有率70%以上という驚異的な数字を維持しています。
それはもちろん、その会社のものが他社と比べて美味しいからにほかならなりません。
素材にこだわっているのはもちろんですが、この会社では、他社と違う独創的な作り方をしています。



.....
なんだと思います？
それは作る人がみんな「ありがとう」と声に出して言いながら作っているのです。
それも、ニコニコしてしっかりと声に出して一日に何千回も言うのだそうです。
この「ニコニコして」、というのが肝です。
例えば、怒った時にはきだす息を袋に入れて中に蚊を入れると、その蚊は数分で死んでしまうらしい。
逆にニコニコしてるときの息は長生きするそうです。
おにぎりでも実験できる。
怒ったときに握ったおにぎりやニコニコして握ったおにぎりでは、見た目一緒でも子供はかなりの確率でニコニコにぎりを選ぶ。
素材にこだわるその先には、作ってる人のニコニコ度にもこだわる時代がくる。
作ってる人たちの波動がモノに移るからというのが、この会社の社長の竹田和平さんの考えです。

.....
でも、作ってる人の気持ちがいつもニコニコって難しいか？
竹田さん曰く、
「ありがとう」と声に出していると自然にニコニコしてくるし、何より運が良くなってくると言っている。
「1日3000回ありがとうと言ってみなさい。人生変わるから・・・」と。
40分でだいたい3000回言えるそうです。
なんと竹田さんの会社の社員は、1時間「ありがとう」と言うと給料とは別にお金が支給される。
1時間で800円。
だから毎日「ありがとう」と2時間言う社員は、1ヵ月で4万8000円プラスに貰えるそうです。
究極のタマゴボーロを作るためには欠かせない経費として考えているから・・・。

.....
これが爆発的に効をそうしたそうです。
「ありがとう」と声に出して言っているとみんなの顔が変わってきて、ニコニコ顔になりました。
しかも工場には、「ありがとう。ありがとう」と録音されたテープが24時間流れています。
だから出荷するまでにだいたい100万回の「ありがとう」がこのお菓子に入っています。
見えない成分、100万回のありがとう含有。
このたくさんの感謝の言葉が侮れない驚異的な実績となって、会社の業績に現れているのもまた事実なのです。



////////////////////
思わず涙する感動秘話より

事件ファイル NO74 わいせつ行為(スカートめくり)

日時 平成 25 年 10 月 8 日(火)18 時 40 分ごろ 晴れ
場所 さいたま市桜区
容疑 痴漢・わいせつ行為(スカートめくり)
内容 マンション居住の女子高校生が自転車で帰宅途中の道路で、自転車であとを付けてくる不審な男に気づく。
女の子は、マンション屋内駐輪場(周囲から死角)の自分の位置に自転車を停めている際、付けてきた男いきなりスカートをめくられたもの。

対応策 不審な男に気づいた際は、決して死角箇所(駐輪場)には行かず、マンションエントランス前等の人の多いところ(いるところ)で停まりましょう。その際、顔は下を向いたり、そむけたりせず、はっきりと相手の顔を見るという行為が抑止効果に繋がります。



プロ太の小話集 NO74 『 婆さんの味噌汁 』

ある所に息子夫婦と舅(しゅうと)が三人で住んでいた。
一年前に他界した姑女(しゅうとめ)は、とても温和で上品なうえ、嫁にも優しい人だった。
しかし、舅の方はそれと反対に、頑固で少々意地の悪いところがあった。
かいがいしく世話をする嫁の行動に、いちいち文句をつけるのだ。

中でも味噌汁については

舅「婆さんとは全然味が違う、なっとらん！ 本当に覚えが悪い嫁だ！」
と毎日嫁を怒鳴りつける始末・・・。

ある日、とうとう頭にきた嫁は舅に出す味噌汁の椀に、こっそりと殺虫剤を振りかけた。
その味噌汁を一口すすった舅が一言。

舅「これじゃよ！ これ！ この味じゃよ！！ 婆さんの味噌汁は！！」



//////////
今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

先月発生した韓国フェリー沈没事故は悲劇でした。亡くなられた方に心からお悔やみ申し上げます。
あの沈みゆく船の中で、親兄弟に感謝の言葉を残した高校生たちを、私たちは忘れません。
そして、任務を投げ捨てさっさと避難した船長の行動を、私たちは忘れません。
さて、船内放送は「動かないで下さい。船内に待機して下さい」というアナウンスが流れていました。
もし、自分が、また家族が同じ境遇に立たされたならばどういう行動を起こしていたでしょうか？
あの状況では、船室に水が浸水してきたときは、逃げ場がなく、まず助からないと判断します。
そして、船体の高い場所へ移動することが最適であると判断します。
実際にできるかどうかはわかりませんが、自身が備えている動物的第六感(危機管理能力)が命運を分けることになると思います。
生命を左右する危機管理上においては、最後は自分の感覚を信じるしかありません！

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長 10 メートル・体重 1 トン・無敵無敗)